

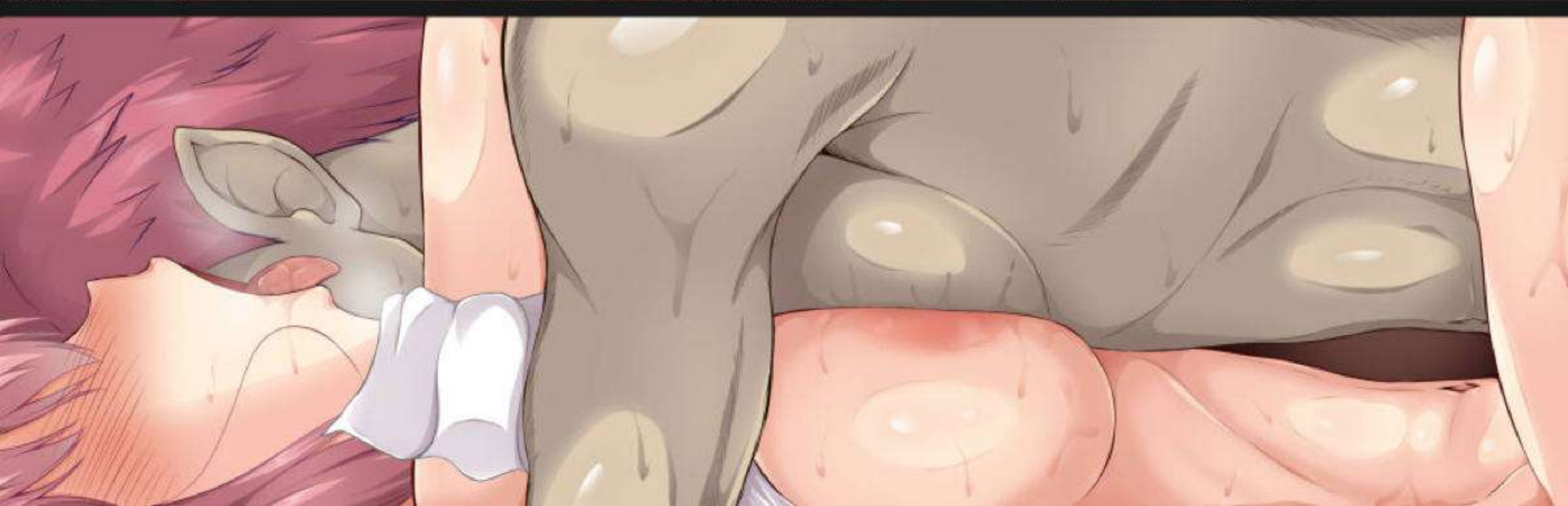
「あー出した出した
ユイちゃんのカラダやっぱ
たまんねーわw」

「ゴムもまだまだあるし
もっと… な？」



「全身ちよー
柔らけー」

「ゴム越しても
グチヨマンの感触
サイコーだわっ」





「中に射精すぞっ!!
しっかり孕めよっ!!」

「んん
んん
んん」

「がチャ
キィィィ」

「お、終わるまで外で待っててって
いったよね……?」
「苦しそうな声が聞こえたから……?」



「そ、そう……でも大丈夫だから
お願いだから言うことを聞いて……」

「ね?」







「ゴメンネ騎士クン…
これからこの人達に儀式のこと
教えてもらおうから…」

「絶対に中を覗いちや
ダメだよ…」



「なんでって…
…なんでもだよ…
ん…♥ 危ないから…ね…?」



「ゴメンネ騎士クン…
これからこの人達に儀式のこと
教えてもらうから…」

「絶対に中を覗いちゃ
ダメだよ…」





「ゴメンネ騎士クン…
これからこの人達に儀式のこと
教えてもらおうから…」

「絶対に中を覗いちゃ
ダメだよ…」





4月5日



ソワ
ソワ



ハッピー
バースデー
ユイちゃん!



「へへ…いいのかよ
彼氏くんが待ってんじや
ねえのか」



ガツ
シ

ムニ

「ん…
もう少し…
もう少しだけ…」



フッ
フ

ジュ
ル

ちゅ

じゅ

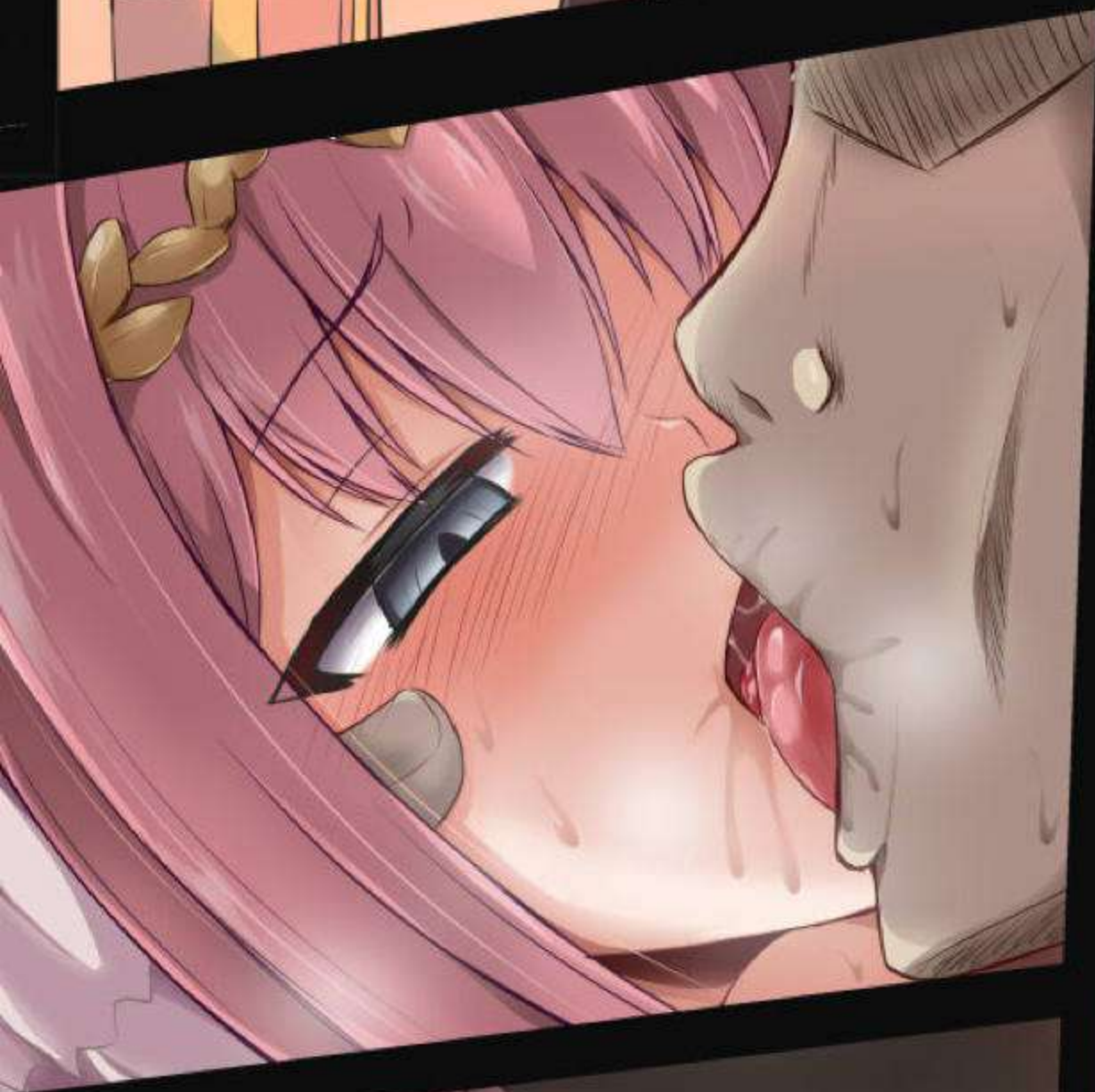


「しょうがねえな
オラッ」

ん

ゴ

パ



やっべー
めちやくちや出た

胸もケツも肉付き良くて
抱き心地サイコーだったわ

ほらほらユイちゃんも
笑って笑って

ザー汁
何回飲ませたっけ？
俺たちの精液で
腹ん中いっぱいだろ

これ騎士クンとやらに
見せるの？

俺たちのチンコ啜えながら
気持ちよさそうに
アンアン言ってるの
最高に昂ったよなW

ハア

ハア

ハア

ホカ

ホカ

フー

フー



あーユイちゃんのカラダたまんねー
いくらハメても全然飽きねーわ

めちやくちや
精子でたし

マ●コの中
すげー肉厚で
締め付やべーw

う…
うん…それじゃ♡

俺もイかせてやるから
な？ いいだろ？

俺達こんなに深く
愛し合ったんだからさあ

他の男にハメ倒されてるの
例の騎士クンが知ったらどんな
顔するか見ものだよな

ズ
チュ♡

ぱん♡

ズ
チュ♡

ぱん♡

ぱん♡

ズ
プ♡

ズ
プ♡

フ
♡



「うっわ エツロW」

「すっかり
俺の虜だよな」

「てかこんなエロい彼女と
海行って何もしないとか
ありえねーだろ」

あっ♡

あっ♡

ハア

ふん♡

グズグズ♡

グズグズ♡

ぽん♡

ぽん♡

あっ♡

「オラッ

浮気されてる可哀想な
彼氏くんにごめんなさい
しろっW」

ぽん♡

グズグズ♡

「ごめんね…」

「ごめんね…」

あっ♡

ハア

はっ♡

「騎士クン

ごめんね…♡」

ハア



「へっへへ
騎士クンも可哀想にな」

「必死にバイトしてるあいだに
自分の彼女が他の男の前で
アへ顔晒してるとは
思いもしねーよなw」

「彼のことは…
いい…言わないで…」

「うっせw このあと俺の
ザーメンマ●コに入れたまま
デートして来い
いいな?」



「あーたまんねー すっかり
俺のチンポ気に入ってくれた
みたいだよな」

「んっ♡ そんなこと……
ないから……♡」

ぽん♡

ぬっぶ♡

ぬっぶ♡

ぽん♡

ぬっぶ♡

ぬっぶ♡

「嘘つけほらカメラの向こうの
騎士クンに俺たちが愛し
合っているところ見せつけ
ようぜw」



